

2026

9

SEPTEMBER

Vol.98

Produce by
Osaka Circular Resource Association

Clean Life

クリーン
ライフ



TOPICS

廃棄物の処理と貨物自動車運送事業に係る許可等の関係について
太陽電池廃棄物の再資源化等の推進に関する法律
廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の一部を改正する法律

ほか



公益社団法人 大阪府産業資源循環協会

OSK

廃棄物 管理士 講習会

環境省認定 講習会



本講習会は環境教育等促進法に基づく「人材認定等事業」に登録されています。

受講対象

産業廃棄物の処理を委託又は受託し、適正に管理していくために必要な法的知識を習得したいと考えている方等

開催期日

開催期日		受講日数	定員
2026年	10月30日(金)	1日	60名
	12月2日(水)	1日	60名
2027年	1月29日(金)	1日	60名
	3月16日(火)	1日	60名
	3月19日(金)	1日	60名

受講料

17,600円(資料代/消費税込み)

開催場所

国民會館 武藤記念ホール

〒540-0008
大阪市中央区大手前2-1-2 国民會館大阪城ビル12階
TEL 06-6941-2433



○地下鉄天満橋駅3番出口から徒歩3分
○京阪電車天満橋駅東出口から徒歩6分

受講のメリット

- ①本講習会の修了者には、公益社団法人大阪府産業資源循環協会が認定する「**廃棄物管理士**」の資格が付与されます。
なお、資格の有効期間は5年です。
- ②本講習会の修了者は、**堺市循環型社会形成推進条例に基づく「産業廃棄物管理責任者」**等として従事することが可能になります。
- ③本講習会の修了証は、大阪府における**産業廃棄物収集運搬業の許可を更新申請するための修了証**等として、ご利用いただけます(法人の場合は、原則として役員等が修了したものが対象です)。
- ④本講習会の受講者は、継続学習制度(CPDS)を利用することにより、多くの行政機関等でCPDSの点数(7ユニット)が行政手続きの技術評価項目としてご利用いただけます。

実施機関

公益社団法人 大阪府産業資源循環協会

〒540-0011 大阪市中央区農人橋1-1-22(大江ビル3階)

大阪府・大阪市

後援

TEL 06-6943-4016

FAX 06-6942-5314

C O N T E N T S

トピックス●

- 「令和7年の地方からの提案等に関する対応方針」（令和7年12月23日閣議決定）において令和7年度に講ずることとされた措置（道路運送車両法、戸籍法及び住民基本台帳法に基づく請求が可能であることの通知）について（令和8年2月20日事務連絡）
- 廃棄物の処理と貨物自動車運送事業に係る許可等の関係について（令和8年3月16日事務連絡）
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について（令和8年3月27日環境規発第2603271号）
- 医療法施行令等の一部を改正する政令の施行について（令和8年3月27日環境適発第26032713号・環境規発第2603272号）
- 「廃棄物処理業における適正取引推進のためのガイドライン」の策定について（令和8年4月14日事務連絡）
- 太陽電池廃棄物の再資源化等の推進に関する法律（令和8年6月5日法律第33号）
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の一部を改正する法律（令和8年6月19日法律第43号）
- ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法及び中間貯蔵・環境安全事業株式会社法の一部を改正する法律（令和8年6月19日法律第44号）
- 地方支分部局の「地方環境局」への名称変更等について（令和8年6月30日環境秘発第2606301号）
- 新規者割引制度の開始について（令和8年7月1日大阪湾広域臨海環境整備センター）

4

事業報告●

- 協会の活動
- 協会の会議
- 他団体会議等への出席

7

クローズアップ●

- ① 公益社団法人大阪府産業資源循環協会
功労者表彰／優良事業所表彰／優良従事者表彰／安全衛生活動優良役員・従業員表彰
- ② 公益社団法人大阪府産業資源循環協会 年度無災害事業所表彰
- ③ 公益社団法人全国産業資源循環連合会
地方功労者表彰／地方優良事業所表彰／優良従事者表彰
- ④ 令和7年度産業廃棄物処理における脱炭素に向けた取組調査終了報告

12

廃棄物処理先進事例調査●

- 第45回 合同会社サファイア スカイ エナジー
- 第46回 加山興業株式会社

18

メールマガジン「Clean Life オンライン」●

28

入退会情報●

31

会 員 紹 介● 栄運輸工業株式会社 堺臨海営業所

32

事務局からのお知らせ●

38

- さんばいフォーラム2026の開催予告
- なにわサンバイ塾
- 経営事項審査のための会員証明書発行について
- 建設廃棄物処理委託契約書の販売終了について
- OSK-sign（電子契約エントランスシステム）に加入しませんか？

バックナンバーのご案内●

40

- Clean Life
- 廃棄物法制等普及促進シリーズ
- よくわかるシリーズ

編 集 後 記●

44

表紙写真：栄運輸工業株式会社 堺臨海営業所
〒592-8331 大阪府堺市西区築港新町1丁目5番29号

TOPICS

1

「令和7年の地方からの提案等に関する対応方針」（令和7年12月23日閣議決定）において令和7年度に講ずることとされた措置（道路運送車両法、戸籍法及び住民基本台帳法に基づく請求が可能であることの通知）について （令和8年2月20日事務連絡）

概要

廃棄物処理法に基づく措置命令等の対象となる者について、その者の自動車ナンバーは判明しているものの、氏名、住所等が不明であることから特定に苦慮する事例があることを踏まえ、道路運送車両法、戸籍法及び住民基本台帳法に基づく請求を行うことが可能である旨の周知が図られました。



通知本文

2

廃棄物の処理と貨物自動車運送事業に係る許可等の関係について （令和8年3月16日事務連絡）

概要

貨物自動車運送事業法を改正し、違法白トラック業者に運送委託を行った荷主等に対する規制が強化されること受け、同法に基づく許可等の取扱い（白ナンバーの車両を登録して廃棄物の収集運搬業を行う者の取扱い）については、その施行後も変更はない旨の周知が図られました。

なお、以上の再周知と会員の安心・理解を促すべく、協会からも事務連絡（※事務局長通知）を发出しています。

※廃棄物の運搬に係る貨物自動車運送事業法の適用関係について
（令和8年3月17日事務連絡）



通知本文



※事務局長通知

3

廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について （令和8年3月27日環境省令第2603271号）

概要

水銀使用製品に指定されている空気亜鉛電池について、（一社）電池工業会により令和元年に無水銀化されたことを踏まえ、水銀使用の表示がある場合を除き空気亜鉛電池が産業廃棄物になったもの等が水銀使用製品産業廃棄物から削除されました。

また、「水銀廃棄物ガイドライン」も改められています。



通知本文

TOPICS

4

**医療法施行令等の一部を改正する政令の施行について
(令和8年3月27日環境省令第26032713号・環境省令第2603272号)**

概要

廃棄物処理法上の医療機関等に「オンライン診療受診施設」が追加されました。感染性病原体が含まれ、若しくは付着している廃棄物又はこれらのおそれがある廃棄物であって当該施設から排出されたものは感染性廃棄物（特別管理一般廃棄物又は特別管理産業廃棄物）になります。

また、「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」も改められています。



通知本文

5

**「廃棄物処理業における適正取引推進のためのガイドライン」の策定について
(令和8年4月14日事務連絡)**

概要

中小受託取引適正化法（取適法）の施行等を踏まえ、廃棄物処理業に係る必要な労務費やエネルギー価格等を適切に価格に転嫁するための「採るべき行動」と「求められる行動」を示したガイドラインを策定し、その周知が図られました。



通知本文

6

**太陽電池廃棄物の再資源化等の推進に関する法律
(令和8年6月5日法律第33号)**

概要

太陽光パネルの大量廃棄に備え、多量の太陽電池を廃棄しようとする太陽光発電事業者等に所定の基準に基づくリサイクルの実施に向けた取組みを義務付けるとともに、費用効率的なリサイクル事業の計画に係る認定制度を創設し、廃棄物処理法上の許可を不要とする等の措置が講じられます。



法律案要綱

7

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の一部を改正する法律
(令和8年6月19日法律第43号)**

概要

使用済みの金属・プラスチック物品の保管又は再生を行う事業に規制（許可、保管・再生の基準、輸出確認）を導入するとともに、非常災害により生じた廃棄物の適正、円滑かつ迅速な処理を一層推進するための制度的な措置（市町村計画の策定、災害協定の締結、最終処分場指定制度等）が講じられます。



法律案要綱

TOPICS

8

ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法 及び中間貯蔵・環境安全事業株式会社法の一部を改正する法律 (令和8年6月19日法律第44号)

概要

今後のPCB廃棄物の適正な処分のための制度的な措置（低濃度PCB使用製品の届出義務・処分義務、高濃度PCB廃棄物の処分義務、都道府県等計画の策定義務等廃止、JESCOの事業見直し）が講じられます。



法律案要綱

9

地方支分部局の「地方環境局」への名称変更等について (令和8年6月30日環境秘発第2606301号)

概要

環境省の地方支分部局として設置された地方環境事務所の業務・規模が拡大されてきたことを踏まえ、その名称を地方環境局に改め、次長職を置く旨の周知が図られました。

また、その内部組織についても平時における災害廃棄物処理の支援体制を充実させるべく、「資源循環課」の名称を「資源循環・災害廃棄物対策課」に改めています。



通知本文

10

新規者割引制度の開始について (令和8年7月1日大阪湾広域臨海環境整備センター)

概要

申込年度及びその直前5カ年度において埋立処分委託契約の実績がない事業者（例外あり）を対象に、1年間20%割引を行う制度を開始する旨の周知が図られました。



通知本文

事業報告

協会の活動

産廃塾

令和8年3月10日（火）15時00分／大江ビル13階（第6会議室）

内容 人事労務担当者が抱える悩みや問題についてのグループディスカッションと発表

講演 「メンタルヘルスケアの視点から考える人事評価」

講師 社会保険労務士 奥野成俊氏（㈱興徳クリーナー所属）

参加 18名

廃棄物収集作業向上研修会

令和8年3月13日（金）15時00分／大江ビル13階（第6会議室）

内容 日常点検の重要性（安全で確実な運行のために）

UDトラックス㈱ 近畿地域営業本部 ワークショップトレーニング 岡本賢晃氏

廃棄物収集作業マニュアル動画の紹介

物資の流通の効率化に関する法律の本年度施行に係る政省令の公布について

専務理事・事務局長 龍野浩一

参加 42名

人間関係の改善に向けたコミュニケーション勉強会

令和8年3月18日（水）15時00分／協会会議室

内容 グループワーク説明 女性部員 北本かおり

取組状況・成果発表 女性部員 小林 昌代

参加 15名

一般社団法人大阪府解体工事業協会との意見交換会

令和8年4月8日（水）14時00分／協会会議室

内容 小規模解体工事元請業者による事業場外保管の取扱いについて（協会改正試案ヒアリング）
再生砕石の動向について

参加 一般社団法人大阪府解体工事業協会 7名

公益社団法人大阪府産業資源循環協会 8名

廃棄物の運搬に係る貨物自動車運送事業法の適用関係についての勉強会

令和8年4月8日（水）16時00分／協会会議室

内容 協会が発出した令和8年3月17日事務連絡（事務局長通知）について
経緯・通知解説等 専務理事兼事務局長 龍野浩一

参加 15名

OSK-sign（電子契約エントランスシステム）導入説明会

【第18次】

令和8年5月21日（木）10時00分

参加者 2名（1社）

廃棄物不適正処理巡視

令和8年6月30日（火）／南河内地域（富田林市・松原市・羽曳野市・藤井寺市・太子町・河南町・千早赤阪村）

内容 不法投棄等廃棄物の不適正処理未然防止と現況確認のための監視パトロール
収集運搬部会員 奥野健治、中田一輝、山岡聖人
専務理事兼事務局長 龍野浩一

新入会員との昼食を交えた親睦会

令和8年7月29日（水）11時45分／湖陽樹

参加者 大阪薬研(株) 環境部チームリーダー 片岡 智氏
(株)ケー・アール・エス 取締役 勘野 亨氏
平成ハイテック(株) 代表取締役 平尾 隆氏
関西運輸事業協同組合 第一営業部長 玉置智一氏
会長 濱田篤介、副会長 塩見頼彦、副会長 樋口かこの、副会長 國中賢一、
組織広報委員長 高好健二、専務理事兼事務局長 龍野浩一、常務理事 河野伴弥

優良認定推進研修会

令和8年7月31日（金）14時00分／協会会議室

内容 今後の廃棄物・資源循環施策（最近の法制化動向と検討状況について）
専務理事・事務局長 龍野浩一
エコアクション21認証登録制度
エコアクション21地域事務局大阪 西迫一二三氏
事例報告
西部サービス株式会社総務部業務支援チーム課長 日吉弘幸氏
参加 6名

施設見学会

令和8年8月21日（金）／①日本リサイクルセンター(株)（中島事業場）
②株式会社浜田（京都PVリサイクルセンター）

内容 ①リチウムイオン電池等の使用済充電式電池をリサイクルする技術・工程の見学
②除却後の太陽光パネル等をリサイクルする技術・工程の見学

参加 29名

第48回廃棄物処理先進事例調査

令和8年9月11日（金）／三同建設(株)（本社）

内容 重機遠隔操作システムK-DIVEの運用状況に関する実地調査
備考 次号にレポート掲載

協会の会議

理事会

- 第69回 令和8年3月25日（水）15時00分／大江ビル13階（第6会議室）
- 令和8年度事業計画等承認の件
 - 理事会運営規則一部変更及び令和8年度以降における招集通知の件
 - 入会申込みの件
 - 令和7年度下期業務執行報告 ほか
- 第70回 令和8年5月14日（木）15時00分／大江ビル13階（第6会議室）
- 第14回定時総会の件
 - 令和8年度循環型社会形成推進功労者（産業廃棄物関係事業功労者）等環境大臣表彰候補者推薦の件
 - 令和8年度環境衛生功労者の知事表彰候補者推薦の件
 - 令和8年度近畿建設リサイクル表彰推薦の件
 - 入会申込みの件
 - 青年部長選任の件 ほか
- 第71回 令和8年7月29日（水）15時00分／大江ビル13階（第6会議室）
- 令和8年度施設見学会実施に係る委託先選定の件
 - さんぱいフォーラム2026事業計画及び収支予算承認の件
 - 入会申込みの件
 - 再資源化判断基準達成に向けた支援業務（環境省委託事業）対応の件
 - 天神祭ごみゼロ大作戦2026協賛の件
 - 事務局夏季休暇の件
 - 近畿地域協議会職員研修に伴う事務局休業の件 ほか

組織広報委員会

- 第108回 令和8年3月10日（火）13時00分／協会会議室・オンライン
- 令和8年3月度入会審査
 - なにわサンパイ塾開催について
- 第109回 令和8年4月10日（金）15時00分／協会会議室・オンライン
- 令和8年4月度入会審査について
 - 令和8年度事業計画について
 - 令和8年度本会表彰（功労者・優良事業所・優良従事者）候補者選考について
 - 令和8年度環境衛生功労者大阪府知事表彰候補者選考について
 - 令和8年度循環型社会形成推進功労者（産業廃棄物関係事業功労者）等環境大臣表彰候補者選考について
 - 令和8年度建設リサイクル表彰推薦候補者選考について ほか
- 第110回 令和8年6月29日（金）16時00分／協会会議室・オンライン
- 令和8年6月度入会審査
 - Clean Life vol.97 取材先の選考について ほか
- 第111回 令和8年8月5日（水）16時00分／協会会議室・オンライン
- なにわサンパイ塾「与信管理セミナー」開催について
 - Clean Life Vol.98発行について
 - VISION2035プロジェクトについて

法政策調査委員会

- 第67回 令和8年4月8日（水）16時00分／協会会議室
- 本委員会・建設特別部会・（一社）大阪府解体工事業協会との意見交換会の報告
 - 2026年度事業計画について
 - 廃棄物の運搬に係る貨物自動車運送事業法の適用関係についての勉強会 ほか
- 第68回 令和8年7月22日（水）15時00分／協会会議室
- 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部を改正する省令案」に対するパブリックコメントへの対応について ほか

危機管理委員会

- 第82回 令和8年4月30日（木）16時00分／協会会議室
- 令和8年度本委員会事業計画等について
 - 年度無災害事業所表彰について
 - 5年無災害事業所表彰について
 - 安全衛生活動優良役員・従業員表彰について ほか
- 第83回 令和8年7月2日（木）16時00分／協会会議室
- 令和8年度廃棄物処理先進事例調査事業について
 - 令和8年度リスクアセスメント推進研修会について
 - 令和8年度安全優良職長厚生労働大臣顕彰候補者予備の選定について ほか
- 第84回 令和8年9月3日（木）15時00分／協会会議室
- 株式会社タイミーサービスからの提案について
 - 上記提案を踏まえた令和8年度リスクアセスメント推進研修会の可能性について
 - 令和8年度廃棄物処理先進事例調査事業の候補について ほか

収集運搬部会

- 第91回 令和8年4月22日（水）14時30分／協会会議室
- 令和8年度本部会事業計画等について
 - 令和7年度廃棄物収集作業向上研修会終了報告 ほか
- 第92回 令和8年5月20日（水）14時30分／協会会議室
- 令和8年度廃棄物不適正処理巡視について
 - 令和8年度廃棄物収集作業向上研修について
 - 令和8年度動画教材作成について ほか
- 第93回 令和8年7月15日（水）14時30分／協会会議室
- 令和8年度廃棄物不適正処理巡視について
 - 令和8年度廃棄物収集作業向上研修について
 - 令和8年度動画教材作成について ほか

再生処分部会

- 第47回 令和8年4月14日（火）14時30分／協会会議室
- 令和8年度本部会事業計画等について
 - 実施済みの廃棄物処理先進事例調査に係るレポートの作成状況について ほか

青年部

- 第100回 令和8年5月25日（木）15時00分／協会会議室
- 令和8年度本部会事業計画等について
 - 令和8年度施設見学会について
 - さんばいフォーラムについて
- 第101回 令和8年6月11日（木）14時30分／協会会議室
- 令和8年度施設見学会について
 - さんばいフォーラムについて
- 第102回 令和8年7月8日（水）15時00分／協会会議室
- 令和8年度施設見学会について
 - 令和8年度さんばいフォーラムについて

第103回 令和8年8月6日（木）15時00分／協会会議室

- 令和8年度施設見学会について 当日配付資料、役割分担、他
- 令和8年度さんばいフォーラムについて
- 全産連委託事業について

女性部

第5回 令和8年3月18日（水）14時00分／協会会議室

- 令和8年度女性部事業について
- いわゆる青ナンバー問題について ほか

第6回 令和8年7月23日（木）～28日（火）書面会議

- 令和8年度勉強会実施について
- 令和8年度施設見学会実施について

他団体会議等への出席

公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター

許可申請に関する講習会（業務管理）における講師研修会

令和8年4月14日（火）10時00分／ウェブ会議

- 2026年度講習会について－業務管理の講義－
- 2026年度講習会「業務管理」の講義要領及び時間配分について
- 講師委嘱手続き及び講義終了報告提出のお願いについて ほか

大阪府

令和8年度産業廃棄物不適正処理対策会議 （市町村連絡部会・取締対策部会・啓発部会）

令和8年5月14日（木）10時00分／ウェブ会議

- 令和8年度大阪府産業廃棄物不適正処理防止推進事業計画について
- 令和8年度大阪府産業廃棄物不適正処理防止推進強化月間事業（6月期）について

近畿地方環境事務所（近畿環境局）

令和8年度大規模災害発生時廃棄物対策近畿ブロック協議会

令和8年6月8日（月）13時30分／意見提出

- 災害廃棄物処理に係る現状及び近畿ブロックにおける令和8年度の取組概要・スケジュール
- 令和8年度の協議会における調査検討事項及びモデル事業の詳細
- 協議会ワーキンググループによる意見交換の実施内容

公益社団法人全国産業資源循環連合会近畿地域協議会

令和8年7月17日（金）15時00分／グランドメルキュール奈良橿原 会議場

- 近畿地域協議会会長の選出について
- 令和7年度決算報告及び令和8年度予算について
- 奈良県協会の活動について
- 全国産業資源循環連合会の活動について

クローズアップ!

1

会長表彰受賞者・受賞事業所のご紹介

弊会では会員のうち、産業廃棄物の適正処理の確保、不法投棄の防止及び資源循環等の取組みに顕著な功績のあった法人又は個人を、また安全衛生活動の推進により労働災害の減少に努めた産業廃棄物処理業者及びその役員・従業員を表彰する制度を設けております。弊会表彰規程に基づき厳正に審査した結果、以下の方々がご受賞されました。誠におめでとうございます。皆様の今後の更なるご活躍をお祈り申し上げます。

功労者表彰

伊山 権一 氏 理事兼危機管理副委員長
関西クリアセンター株式会社 代表取締役会長



功労者表彰・優良事業所表彰受賞の皆さま

優良事業所表彰

一般部門	株式会社コスミック	代表取締役	國中 伸也 氏
	辰巳環境開発株式会社	代表取締役	辰巳 秀司 氏
	有限会社清菱	代表取締役社長	小林 昌代 氏
建設部門	株式会社都市樹木再生センター	代表取締役社長	田口 昇 氏
	モワカ産業株式会社	代表取締役	馬場 義夫 氏
	株式会社リサイクル松栄	代表取締役	松尾 美香 氏

優良従事者表彰

塩路 達夫 氏	株式会社ダイトク	長船 敦 氏	三洋商事株式会社
山本 健児 氏	功成建設株式会社	蔵本 和生 氏	株式会社さつき
大北 修 氏	株式会社ダイトク	水江 雅美 氏	株式会社ダイトク
西 雅行 氏	大阪ベントナイト事業協同組合	根来 都義 氏	株式会社興徳クリーナー
栗山 典正 氏	大栄環境株式会社	松橋 昌子 氏	野村興産株式会社



優良従事者表彰ご受賞の皆さま

安全衛生活動優良役員・従業員表彰

丹野 謙二 氏 株式会社ジェイ・ポート
和多瀬昌広 氏 ミヤサカ株式会社
野村 拓也 氏 株式会社共英メソナ



安全衛生活動優良役員・従業員表彰ご受賞の皆さま

クローズアップ

2

年度無災害事業所表彰

本会では会員企業において安全衛生活動の推進により労働災害の減少に努めた産業廃棄物処理業者及びその役員・従業員を表彰し、もって、産業廃棄物処理業に係る安全衛生の高揚と労働災害の防止に寄与することを目的とした安全衛生表彰要綱を設けております。

本会安全衛生表彰要項に基づき厳正に審査致しました結果、以下の事業所の受賞が決定いたしました。

有限会社アルファフォルム
株式会社エンタープライズ山要
関西チップ工業株式会社
株式会社共英メソナ
株式会社ジェイ・ポート
株式会社ダイトク
株式会社松南サービス
株式会社浜田
有限会社マツケン
ミヤサカ株式会社

以上10社

クローズアップ!

3

公益社団法人全国産業資源循環連合会 会長表彰受賞のご報告

公益社団法人全国産業資源循環連合会では、産業廃棄物処理事業に功績顕著な者、産業廃棄物処理業者の模範となり我国の産業廃棄物処理事業に寄与した企業、多年にわたり産業廃棄物処理事業に従事しその業務に精励し他の模範となる者を表彰する制度を設けており、弊社から推薦した下記の方々にご受賞されました。誠にありがとうございます。

地方功労者表彰

福田 勝 氏 建設特別副会長 株式会社 MFJ 代表取締役

地方優良事業所表彰

平和興業株式会社 (代表取締役 米澤 勉)
株式会社エイシン (代表取締役社長 米村 和彦)
株式会社田中浚渫工業 (代表取締役 田中 正人)
株式会社井本興業 (代表取締役 井本圭一郎)

優良従事者表彰

山下 貴生 氏 (平和興業株式会社) **橋本 正英 氏** (北口建設工業株式会社)
河合 郁子 氏 (株式会社小野商店) **吉田 彰 氏** (関西クリアセンター株式会社)
松井由紀枝 氏 (株式会社ダイトク)



明治記念館での表彰式にご出席の皆さま

クローズアップ!

4

令和7年度産業廃棄物処理における 脱炭素に向けた取組調査

温室効果ガス（GHG）対策に向けた処理業者の取組状況とこれに対する排出事業者の意識や展望を把握し、こうした課題解決に資する情報として整理又は考察したものを提供することで、処理業者がGHG対策に取り組む上での支援やその促進に繋げていくことを目的とした公益財団日本産業廃棄物処理振興センター（JWセンター）実施の調査について、令和6年度に引き続き、協力しました。

令和8年3月公表 令和7年度産業廃棄物処理における脱炭素に向けた取組調査報告書
(JWセンターホームページ内)



廃棄物処理先進事例調査[※]

令和7年11月17日(月)に本会再生処分部会の先進事例調査として大阪府堺市にあるコスモ石油株式会社 堺製油所内のSAF製造プラントを訪問しました。

このプラントは、国内初となる国産SAF（Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料）の量産を目指す事業として、2022年にコスモ石油株式会社（以下コスモ石油）、日揮ホールディングス株式会社（以下日揮HD）、株式会社レボインターナショナル（以下レボインターナショナル）の3社が合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（以下サファイア スカイ エナジー）を設立し、それぞれの事業で長年培ってきた知見・ノウハウ・アセット等を結集し、運営されています。

また、本事業は2021年にNEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）の助成事業に採択され、100%廃食用油を原料とした年間約3万キロリットルのSAFの国内供給を目指しています。2024年には日本初の ISCC CORSIA 認証を取得、原料から供給まで国内で完結する純国産SAFの提供体制が国際的な基準で認められました。

※本会の事業名として「廃棄物先進事例調査」という表記を用いているが、同社は、廃食用油を全て「有価物」として引き取っている。



SAF製造施設の前で記念撮影

第45回 合同会社サファイア スカイ エナジー

■ 会社概要

社 名：合同会社SAFFAIRE SKY ENERGY（サファイア スカイ エナジー）
創 立：2022年11月1日
代 表 者：高田 岳志（コスモ石油株式会社取締役執行役員）
本 社：神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-1
資 本 金：1億円（日揮ホールディングス：48%、コスモ石油：48%、レボインターナショナル4%）
事 業：国産廃食用油を原料とするSAF、バイオナフサ、バイオディーゼルの製造および販売

■ 設立会社

社 名：コスモ石油株式会社
創 立：1986年4月1日
代 表 者：代表取締役社長 西 克司
本 社：東京都中央区京橋一丁目7番1号
資 本 金：1億円
従 業 員：1,463名（2025年3月31日現在）
事 業：原油・石油製品の輸出入・精製・貯蔵・販売等
U R L：<https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/company/group/cosmo-coc.html>

社 名：日揮ホールディングス株式会社
創 立：1928年（昭和3年）10月25日
代 表 者：代表取締役会長兼社長 Chief Executive Officer (CEO) 佐藤 雅之
本 社：神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-1
資 本 金：238億8,579万円（2025年3月31日現在）
従 業 員：8,365名（2025年3月31日現在）
事 業：グループ戦略立案および事業会社の統括管理など
U R L：<https://www.jgc.com/jp/>

社 名：株式会社レボインターナショナル
創 立：設立／活動開始 1999年10月／1995年8月
代 表 者：代表取締役CEO 越川 哲也
本 社：京都市下京区綾小路通烏丸東入竹屋之町252-1 四条烏丸アーバンライフビル 101
資 本 金：4億9997万5000円（令和7年3月28日現在）
従 業 員：105名
事 業：バイオ燃料化技術の研究開発、バイオ燃料原料（廃食用油）の引取、バイオ燃料の製造・販売
U R L：<https://revo-international.co.jp/>

■ SAF（Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料）について

SAFは、廃食用油や動植物油脂、バイオマスなど再生可能資源を原料とする持続可能な航空燃料で、従来のジェット燃料に比べライフサイクルで最大80%のCO₂排出削減が可能となっている。国際航空運送協会（IATA）は2050年のネット・ゼロ^{*}達成に向け、SAFの活用を主要施策に位置付けており、欧米を中心に商業生産が加速。日本でも官民連携による技術開発や供給網構築が進展し、廃食用油回収から精製までのサプライチェーン整備が急務となっている。航空業界の脱炭素化において、SAFは不可欠な戦略的次世代航空燃料として大きな期待が寄せられている。

※ネット・ゼロ（net zero）：正味・実質という意味の英単語「net」と排出量ゼロの「zero」を組み合わせた言葉

■ SAF製造施設が設置されたコスモ石油堺製油所について

【沿革】

1964年に関西石油株式会社が設立され、1968年に堺製油所が操業を開始した。1979年には丸善石油と統合。その後、1986年に大協石油と統合し、コスモ石油となり、1989年にはアジア石油と統合、そして2015年にコスモエネルギーホールディングスの供給事業会社として新コスモ石油が発足した。堺製油所は2007年から2010年にかけて高度化計画により熱分解装置（コーカー装置）や水素製造装置を導入し、2011年にはETBE装置を新設してバイオガソリン生産を開始した。最近の加速する脱炭素化に向けた取り組みを受け、2023年より廃食用油を原料としたSAF製造設備の建設に着手、2025年に竣工した。地元堺市と廃食用油の回収協定を締結、年間約3万キロリットルの国産SAF供給を目指すこととなった。

【特徴】

堺製油所は、2010年に導入した上記のコーカー装置により、余剰重油留分を高付加価値の中間留分へ転換できる「ボトムレス製油所」という点が最大の特徴となっている。近畿圏の中心に位置し、大消費地への供給拠点として関西空港へのジェット燃料輸送も可能。

環境対応としてバイオガソリン（ETBE）を生産し、CO₂排出削減に寄与している。さらに、日本初の国産SAFの大規模生産を行うことで、持続可能な脱炭素社会へ貢献している製油所である。



堺製油所構内

■ サファイア スカイ エナジーについて

日揮HD、コスモ石油、レボインターナショナルの3社が、廃食用油を原料とした国産SAF(Neat SAF)の製造・供給をするために設立した会社。2025年4月から廃食用油を原料としたSAFの大規模生産を行っている。関西国際空港や中部国際空港での初供給も発表されており、国産SAFの市場拡大に向けた第一歩となる。各社の役割は以下のとおり。

【コスモ石油】

用地提供、既存設備を活用したインフラ供給、操業管理を担うほか、Neat SAFと既存のジェット燃料との混合や製品の品質管理、輸送に関する検討を進め、既存インフラを最大限活用した効率的な供給体制の構築を目指す。

【日揮ホールディングス】

事業全体の統括を担当し、SAF製造設備の設計・建設や、マスバランス法を用いた認証手法の開発を推進し、国際的な認証取得に向けた技術基盤を整備する。

【レボインターナショナル】

廃食用油の原料調達に加え、スマートな収集システムの開発・実証を担当。原料調達の持続性やコスト調査を通じ、安定的な供給を支える仕組みづくりに注力している。

【サファイア スカイ エナジー】

Neat SAFの製造を担当する。

■ 廃食用油の回収からSAF製造まで

①廃食用油の収集

レボインターナショナルは、北海道から鹿児島まで全国11拠点から有価物として廃食用油を引取り、堺製油所に搬入する。搬入された廃食用油は計量後、専用ポンプで吸引し、遠心分離機により水分や不純物を除去。廃食用油はタンクに貯蔵され、上記前処理を行った後SAF装置へ送られる。

②SAF製造

廃食用油を原料とし、HEFAプロセス*のSAF装置を経てSAFが製造される。SAFの原料となる廃食用油は、分子の中に酸素や金属分などの不純物を含んでいる。HEFAプロセスでは、水素と触媒を使ってこれら不純物を取り除いて炭化水素に変えた後、SAFの規格に適合するようにさらなる水素化処理を行っている。

※HEFA (Hydroprocessed Esters and Fatty Acids : 水素化処理エステル・脂肪酸) :

廃食油・獣脂・非可食植物油などの脂肪酸エステルを水素化処理することでジェット燃料と同等のSAF(CnHm)を製造する技術。
⇒炭素数の長い鎖の状態から炭素数が9～16の長さに整える。

■ 現状の課題

国産 SAF の量産化事業の課題としては、まず原料の調達の難しさがある。国内での廃食用油の潜在量は約50万トンと限られており、海外への流出もあるなか、安定的な調達には自治体や企業のさらなる連携が不可欠である。

さらに製造技術や製造コストについては、従来の燃料と比較し非常にハンドリングも難しく、販売価格的にも高価なため、補助金での吸収だけでは難しいと思われる。

また、国内での航空会社等が SAF を利用するにあたってのルールや制度整備がなされていくことも急務であると感じた。

■ むすび

まず、コスモ石油堺製油所の現場のスケールと技術力に圧倒されました。さらに、廃食用油を原料とする SAF 製造設備は、日本初の国産 SAF 量産化を担う革新的なプラントであり、事業全体の取り組みとして、脱炭素社会への実践的な一歩であると感じました。

見学で特に印象に残ったのは、反応条件の管理の重要性である。これらの反応は高温・高圧で行われ、熱が出やすいため、反応が進み過ぎると燃料の性質が悪くなることがある。そこで、温度や圧力、水素の量、触媒の状態を細かく管理し、燃えやすさと低温でも流れやすい性質のバランスを保っている。SAF は環境にやさしいだけでなく、高度な管理技術によって品質と安全性が支えられている燃料であることが分かった。

全国から廃食用油を集める仕組みや、既存設備を活用した効率的な設計に加え、自治体や企業との連携、Fry to Fly Project を通じての啓発活動など、循環型社会の構築に向けての将来性を担った重要な事業であると思います。

堺から始まるこの挑戦は、持続可能な未来を切り拓く力強いプロジェクトだと実感しました。



星山部会長挨拶



構内見学

最後になりましたが、この度の見学に当たり、合同会社サファイア スカイ エナジー橋本様、コスモ石油株式会社松本様、株式会社レボインターナショナル立田様、船瀬様にはお忙しいところ長時間にわたり懇切丁寧にご対応ご説明いただき感謝申し上げます。

(文責：吉村太郎)

廃棄物処理先進事例調査

令和7年11月28日（金）本会危機管理委員会の先進事例調査として、愛知県豊川市にある加山興業株式会社を訪問した。加山興業では「緑あふれるクリーンな日常を世界に」という理念を実現するため、あらゆる場所、あらゆる分野で活動している。

今回は、令和6年に技能実習制度の改正及び育成就労制度の新設に係る法律が公布され、今後産業廃棄物処理業界においても外国人労働者が増加すると予想されることを受けて、10年前より外国人労働者を受け入れ、活躍できる体制を整えられている加山興業の取組みを調査し、併せて労働災害対策についてもヒアリングした。



市田リサイクルプラントの前で記念撮影

第46回 加山興業株式会社

■ 会社概要

商 号：加山興業株式会社
 設 立：昭和36年11月1日
 代表取締役：加山 順一郎
 所 在 地：名古屋本社 愛知県名古屋市熱田区南一番町15番5号
 豊川本社 愛知県豊川市南千両二丁目67番地
 資 本 金：5千万円

■ 事業内容

産業廃棄物収集運搬業／産業廃棄物処分業
 特別管理産業廃棄物収集運搬業／特別管理産業廃棄物処分業
 一般廃棄物収集運搬業・処分業
 自然エネルギー事業
 養蜂事業
 環境啓発事業
 環境機器用品販売事業
 SDGs 実装支援・普及啓発事業
 福祉支援事業

■ 主な取り組み

①適正処理・資源循環

1. 高い再資源化率

毎月の処理量のうち、約80%程度をリサイクルしており（業界平均を上回る高水準）、中間処理で“選別→破碎→再資源化”を丁寧に行っている。

2. 多様な処理設備と最新投資（焼却炉・破碎・光学選別 等）

焼却炉（感染性・有害廃棄物の無害化やサーマルリサイクル）や破碎設備、光学選別機、2022年に導入した「東海地区最大級の新焼却炉」など、処理能力・選別精度を高める設備投資を継続中。これにより廃棄物の減量化とリサイクル率向上を図る。

3. 木材ライン／RPF（固形燃料）化・燃えながら利用

木くずは専用ラインで破碎・ふるい分けし、製紙用チップや燃料用チップとして再利用。燃えながら（焼却残渣）はコンクリート原料などへ再利用する取り組みを行っている。RPF化も実施。

4. 太陽光パネルのリサイクル（地域の循環プロジェクト参画）

廃棄される太陽光パネルの増加に対応するため、太陽光パネルのリサイクル設備導入や、あいちサーキュラーエコノミー（PT3）など地域プロジェクトでの知見提供・実証への参画を行っている（廃パネルの適正処理・資源回収に注力）。

②脱炭素

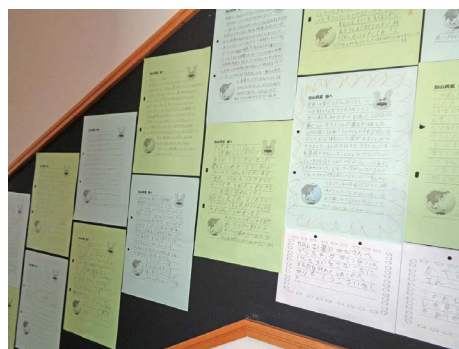
スコープ2はゼロを実現。

排出係数の低い燃料利用や、事業所での再生可能エネルギー利用（自社含む発電所保有の例あり）など、CO₂削減へ向けた取り組みを進めている。

③地球共生

地域の学生を招いた環境授業は138回実施し、のべ8,871名が受講。

環境省から環境教育等促進法に基づく「体験の機会の場」の認定を受けている。



環境授業を受けた学生からの礼状

④環境共生

環境教育事業（例：養蜂＝ミツバチ飼育による環境指標活動）や福祉事業、地域向け情報発信など、企業の社会的役割（ESG的活動）にも力を入れている。



採取された蜂蜜

⑤ウェルビーイングの追求

⑥コンプライアンス遵守とリスクマネジメント

愛知県からの「優良産業廃棄物業者」認定、ISO（例：ISO14001 / ISO45001）等の環境・労働安全マネジメントを維持し、電子マニフェストの利用や車両GPS管理、監視カメラ等で運搬・処理のトレーサビリティと安全管理を徹底。



加山社長で挨拶



説明を受ける委員

■ 外国人技能実習生の受け入れと関わり方

加山興業では、2015年から技能実習生を受け入れ、指導し、現地で活躍できる人材の育成をおこなってきた。ラオスからの技能実習生も受け入れ、現在17名が在籍している。

《外国人労働者を受け入れにあたっての工夫》

- 受け入れにあたっては、ただ人手として働かせるだけではなく、「育成・安心できる環境づくり」を重視し、学生として捉えている。
- 日本語学習の支援に力を入れている。具体的には日本語能力検定の合格に応じた昇給制度を設けている。
- 廃棄物処理施設は危険を伴う現場であることから、母語＋イラストでの安全管理資料の作成し工場内に掲示している。
- 日本人社員との交流イベントを実施し、人間関係・職場の雰囲気作りにも気を配っている。
- こうした取り組みを外部機関（JP-MIRAI）で公開・紹介し、透明性を確保し、「責任ある受け入れ企業」であることを形として示している。

■ 安全衛生・労働環境への取り組み

加山興業では「環境保全かつ安全・衛生」を重要な経営の柱と位置づけ、廃棄物処理だけでなく従業員の安全・健康にも注力している。

労働安全衛生マネジメント体制を整備しており、環境マネジメントの国際規格 ISO14001 と、労働安全衛生マネジメントの国際規格 ISO45001（過去は同等の OHSAS も取得）の認証を取得・運用しており、法令遵守＋継続的改善を明文化している。

また、定期的な健康診断（メディカルチェック）、メンタルヘルスや生活習慣への指導など「社員の健康マネジメント」も実施している。

《安全衛生に係る主な取組》

- 安全衛生委員が上級救命講習を受講し、社内で講師として活躍。
- 安全教育・衛生教育、安全パトロール（毎月1回、丸1日実施）、リスクアセスメント、労災防止のための講習や訓練、事故防止活動など、現場での「重大事故・災害ゼロ」を目指す取り組みを継続。防火訓練は年に4回実施している。
- 運搬車両にはGPSを搭載し、収集運搬から処理までの「トレーサビリティ」を確保。廃棄物管理と並んで、安全・適正な運搬にも配慮。
- また、防災面でも地域貢献を兼ね、防災協力事業所として登録。災害時における避難所の提供や地域への防災セミナーなど、「地域の安全・安心」の確保にも取り組んでいる。

チェッカー式スプリンクラー

過去の火災事故を教訓に、メーカーと協力し夜間や無人の状態でも消火できるチェッカー式スプリンクラーを開発した。紫外線の波形で炎を検知する火災報知システムで、最小10mm程度（火花）から感知可能となっている。



■ 加山興業の最近の安全衛生・外国人受け入れの実績

《安全衛生》

年／時期	2021年以降（マネジメント体制）
内容／出来事	安全衛生マネジメントシステムの導入・運用 — ISO45001（労働安全衛生）＋ISO14001（環境）を正式に社内で運用
ポイント・特徴	加山は廃棄物処理業に伴うリスク（環境汚染、労災、健康被害など）を前提に、法令遵守と継続的改善をコミット。すべての作業で「安全最優先」「安心安全な職場づくり」を明文化。

年／時期	2024－2025年頃
内容／出来事	安全衛生活動の社内外報告／事例発表 — 愛知産業資源循環協会主催の「安全大会」にて、加山の安全衛生活動を発表
ポイント・特徴	「ヒヤリハットによる設備改善」「定期的な防火訓練」「ドライバー教育／運搬車両の安全管理」「安全パトロール強化」など、安全が最優先の職場づくりを継続する姿勢をアピール。

年／時期	毎年継続（安全教育・訓練）
内容／出来事	新入社員教育、安全衛生委員会、安全パトロール、消火訓練、防災訓練、労災事故体験講座、優良ドライバー研修など
ポイント・特徴	単なる形だけではなく、OJTも含め「机上＋実践」で安全意識と運転・作業の安全性を高める取り組みを継続。ドライバー教育では、運転データを分析して急発進・急ブレーキの防止などを徹底。

《外国人受け入れ》

年／時期	2023年5月
内容／出来事	JP MIRAI（外国人労働者の受け入れ／支援プラットフォーム）で「加山の技能実習生受け入れについて」紹介
ポイント・特徴	加山が2015年から始めたベトナムからの実習生受け入れ、2021年以降ラオスからの受け入れも含めた体制をとっていることが第三者機関で認められた。記事では「日本語能力検定合格による昇給制度」「母語＋イラストでの安全管理資料」「日本人社員との交流イベント」など、“思いやりある受け入れ姿勢”を強調。

年／時期	2023年以降（受け入れ体制の見える化）
内容／出来事	外国人実習生対応の公開：受け入れ開始国の明示、昇給制度、言語対応、安全管理資料、多文化理解の場づくり
ポイント・特徴	単なる「受け入れ」ではなく、「育成」「安心できる環境」「文化・言語配慮」「人間関係の構築」をセットにした受け入れ体制を構築。JP-MIRAIという外部枠組みで紹介されたことで、透明性を高めた。

■ むすび

単に「ごみを処理する会社」ではなく、「社員の安全と健康を守る」「地域の防災拠点になる」「環境と人を両立させる社会貢献企業」として、安全衛生管理を制度・日常運営の両面で取り組んでおられることに大きな感銘を受けました。

外国人技能実習生の受け入れについても、文化・言語の違いに配慮しつつ、日本人社員との交流を通じて職場になじみやすくするなど、単なる「労働力確保」ではない「共生型の組織づくり」を目指されていることをお伺いし、今後、育成就労制度が新設され、われわれ廃棄物処理業にも多数の外国人を受け入れることになると思われますが、その際の会社としての姿勢の大きな参考になりました。

さらに、ラオスでの廃棄物処理問題解決に尽力され、貴社での技能実習生がその一翼を担い活躍されていることは外国人受け入れ事業がうまく回っている証左だと感じ入りました。非常に有益な先進事例調査となりました。

最後になりましたが、この度の訪問にあたり、加山社長におかれましては大変お忙しい中ご挨拶にお出ましいただき有難うございました。また、経営企画室の中嶋様には長時間にわたり懇切丁寧にご対応で説明いただき心より感謝申し上げます。

（文責：田口 昇）

メールマガジン「Clean Life オンライン」 好評配信中！

会員を対象にメールマガジン「Clean Life オンライン」を配信中です。すでに多数の会員の方にご登録いただいておりますが、まだまだ受付中です。配信ご希望の会員の方は本会ウェブサイトでプライバシーポリシーをご確認のうえ、同意された場合には下記要領に従い、配信先メールアドレスのご登録（無料）をお願い申し上げます。

公益社団法人大阪府産業資源循環協会のプライバシーポリシーの開示
<https://o-sanpai.or.jp/privacy>

なお、メールマガジン配信にご登録をされますと、ファックスによる情報提供は停止されます。予めご了承ください。

【メールマガジン配信先のご登録要領】

- 次の事項をご記入の上、**office@o-sanpai.or.jp**に送信してください。
 - ①会員の名称
 - ②ご担当者所属・役職・氏名
 - ③電話番号
 - ④配信先メールアドレス（1会員につき1メールアドレスのみの登録となります）
- 送信時の件名は「メールマガジン配信希望（会員の名称）」としてください。

Clean Life オンラインのバックナンバー

令和7年度

3月18日 _____

Vol.925 ■ 廃棄物の運搬に係る貨物自動車運送事業法の適用関係について

3月24日 _____

Vol.926 ■ 【環境省】「燃料油や石油製品の供給に関する情報提供」の受付について

3月26日 _____

Vol.927 ■ 〈厚労省〉令和8年「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」の実施について

3月27日 _____

Vol.928 令和8年度労働安全衛生表彰に係る表彰候補者の募集について

3月31日 _____

Vol.929 ■ 〈環境省〉令和7年度補正予算循環型社会形成推進事業費補助金（リチウムイオン電池等の火災事故防止・分別回収による安全・経済損失防止対策事業）の一次公募について

令和8年度

4月1日 _____

Vol.930 ■ Clean Life vol.97発行のお知らせ

4月3日 _____

Vol.931 ■ 令和8年度 積替・保管を含まない収集運搬業の更新許可申請手数料の電子収納について

4月3日 _____

Vol.932 ■ 2026年度廃棄物管理士講習会の開催日程および受講料改定のご案内

4月7日 _____

Vol.933 ■ 排出量取引制度（GX-ETS）開始に関するオンライン説明会開催日程のご案内

4月13日 _____

Vol.934 ■ 2025年度温室効果ガス排出量等実態調査結果のご案内

4月16日 _____

Vol.935 ■ 〈環境省〉「廃棄物処理業における適正取引推進のためのガイドライン」の策定について

4月21日 _____

Vol.936 ■ 〈国交省〉物流効率化法における特定荷主等の指定の届出の提出方法等に係る荷主及び物流事業者向け説明会のご案内

4月21日 _____

Vol.937 ■ 〈京都府協会主催〉2026年度産業廃棄物処理業研修会「初任者のための産業廃棄物入門セミナー」開催のご案内

4月23日 _____

Vol.938 ■ 〈産業廃棄物処理事業振興財団〉令和8年度産業廃棄物・汚染土壌排出管理者講習会の開催について

4月24日

Vol.939 ■〈全産連・調査協力依頼〉廃棄物処理に必要な燃料油・石油製品の供給・調達状況に係る調査の実施について

4月27日

Vol.940 ■〈環境省〉「プラスチック資源循環に係る支援制度等の認知・利用に関する調査」へのアンケートについて（協力をお願い）

4月28日

Vol.941 ■地域の廃棄物を活用した地域エネルギー創出事業の公募について

5月1日

Vol.942 ■2026年度廃棄物管理士講習会の申込受付開始のお知らせ

5月1日

Vol.943 ■〈環境省〉廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について

5月1日

Vol.944 ■〈産廃振興財団〉循環型社会形成推進事業費補助金（地域資源の徹底活用に向けた資源循環加速化事業）の公募について

5月11日

Vol.945 ■〈環境省〉医療法施行令等の一部を改正する政令の施行について

5月12日

Vol.946 ■〈全産連・調査協力依頼〉最終処分場に係る災害対応及び免税軽油の使用に関するWeb調査の実施について（令和8年5月26日締切）

5月13日

Vol.947 ■〈全産連〉産業廃棄物処理業の景況動向調査報告書【2026年1-3月期】について

5月15日

Vol.948 ■廃棄物管理士資格の経過措置終了および資格再取得のご案内

5月18日

Vol.949 ■〈環境省〉令和8年度産業廃棄物処理業者が活用できる政府支援策一覧

5月18日

Vol.950 ■〈海上保安庁〉令和8年度海洋環境保全推進月間の実施に伴う協力について

5月21日

Vol.951 ■〈全産連会長メッセージ〉第99回全国安全週間を迎えるにあたって

5月21日

Vol.952 ■【賛助会員限定】第14回定時総会における自社の事業や商品・サービス等を宣伝する機会について（参加募集）

5月25日

Vol.953 ■〈総務省〉令和8年度電波利用環境保護に関する周知・啓発活動について

5月27日

Vol.954 ■〈大阪府〉「大阪府石綿飛散防止対策セミナー」の開催について（6/22再送）

5月29日

Vol.955 ■廃棄物管理士向け スキル向上セミナー開催のお知らせ

6月3日

Vol.956 ■【事業構想大学院大学】無料セミナーのご案内

6月3日

Vol.957 ■〈廃棄物・3R研究財団〉（低炭素関係）国内資源循環体制構築に向けた再エネ関連製品及びベース素材の全体最適化実証事業の公募について

6月11日

Vol.958 ■【重要】第14回定時総会・表彰式・懇親会 会場のご案内

6月15日

Vol.959 ■令和8年度優良認定推進研究会（エコアクション21）開催のご案内

6月24日

Vol.960 ■地域の廃棄物を活用した地域エネルギー創出事業の2次公募について

7月3日

Vol.961 ■〈環境省〉地方支分部局の「地方環境局」への名称変更等について

7月3日

Vol.962 ■〈経産省・環境省〉石油製品・関連製品の供給目詰まり・偏り解消協力団体・企業へのご登録のお願い

7月10日

Vol.963 ■令和8年度施設見学会について（ご案内）

7月10日

Vol.964 ■【会員限定】経営事項審査にかかる会員証明書の交付について

7月17日

Vol.965 ■〈廃棄物・3R研究財団〉（低炭素関係）（2次募集）国内資源循環体制構築に向けた再エネ関連製品及びベース素材の全体最適化実証事業の公募について

7月21日

Vol.966 ■〈産業廃棄物処理事業振興財団〉 令和9年度産業廃棄物処理助成事業について

7月23日

Vol.967 ■〈大阪港湾局〉 泉大津フェニックスリサイクル関連産業用地におけるニーズ調査アンケートについて（ご協力をお願い）

7月23日

Vol.968 ■2026年度PCB廃棄物の収集運搬業作業従事者講習会の開催のお知らせ（本年度が最終となります）

7月28日

Vol.969 ■〈近畿環境局〉「令和8年度近畿地方資源循環自治体フォーラム」開催のお知らせ

7月31日

Vol.970 ■〈最終処分業者限定〉〈全産連・調査協力依頼〉「指定非常災害廃棄物最終処分場における非常災害廃棄物の受入れに係る特例措置」に関する利用希望調査（令和8年8月7日（金）締切）

8月5日

Vol.971 ■〈厚労省〉 令和8年度（第77回）全国労働衛生週間に関する協力依頼について

8月17日

Vol.972 ■〈全産連〉 産業廃棄物処理業の景況動向調査報告書【2026年4-6月期】について

8月17日

Vol.973 ■〈事業構想大学院大学〉 無料セミナー開催のご案内

8月25日

Vol.974 ■2026年度 廃棄物管理士講習会 追加開催のご案内

8月26日

Vol.975 ■なにわサンパイ塾「与信管理と債権回収」開催のご案内

8月28日

Vol.976 ■〈全産連〉【環境省受託事業】『高度化法における判断基準の達成に向けて』講習会の開催

9月2日

Vol.977 ■〈全産連〉「令和8年度（第77回）全国労働衛生週間を迎えるにあたって 会長メッセージ」の周知について

新規入会会員紹介

令和8年3月～令和8年8月に入会した会員

正会員

大阪薬研 株式会社			
代 表 者	矢 野 貴 光		
住 所	〒562-0015 大阪府箕面市稲5-13-10		
電 話 番 号	072-726-1162	F A X 番 号	072-726-1170
業 務 内 容	産業廃棄物収集運搬業、試薬・医薬・理化学機器の販売、設備機器・分析機器の製造販売 等		

賛助会員

関西運輸事業協同組合			
代 表 者	吉 井 省 三		
住 所	〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-13-11-702		
電 話 番 号	06-6531-1181	F A X 番 号	06-6531-1189
業 務 内 容	高速道路通行料金の共同精算事業および燃料の共同購入事業 等		

株式会社 清和建設			
代 表 者	竹 村 龍 巳		
住 所	〒546-0041 大阪府大阪市東住吉区桑津1-9-14-104		
電 話 番 号	06-7890-3378	F A X 番 号	06-7890-3379
業 務 内 容	土木、建設工事および施工管理業務、不動産の売買・仲介・賃貸・管理 等		

株式会社 福善			
代 表 者	福 本 剛 史		
住 所	〒585-0002 大阪府南河内郡河南町一須賀137		
電 話 番 号	0721-98-7663	F A X 番 号	0721-21-1892
業 務 内 容	建設業、飲食業 等		

退会会員 ————— 令和8年3月～令和8年9月に退会した会員

正 会 員 (株)カンソー、(株)プロテック

賛助会員 (株)トクヤマ、三菱ふそうトラック・バス(株)近畿ふそう

Member

会員紹介

Information

栄運輸工業株式会社 堺臨海営業所

C O M P A N Y P R O F I L E



秋山 勇 貴

堺臨海営業所 所長

代表取締役社長

小松 範行

本 社

大阪市都島区片町 1-5-4 栄ビル7F

堺臨海営業所

堺市西区築港新町 1-5-29

泉北支店 泉北営業所

高石市高砂 2-11

泉北支店 堺営業所

堺市西区石津西町 15

泉北車庫

和泉市上代町 1103-1

泉北支店 姫路営業所

兵庫県姫路市広畑区富士町 1

泉北支店 福岡営業所

福岡県筑紫野市大字古賀 293-3

枚方支店

枚方市上野 3-1-1

阪神支店 尼崎営業所

兵庫県尼崎市大浜町 2-3

阪神支店 加古川営業所

兵庫県加古川市金沢 1

忠岡営業所

泉北郡忠岡町高月南 2-3-38

事業内容

- 貨物自動車運送事業・貨物利用運送事業・倉庫業
- 産業廃棄物処理・建設資材、機械器具の販売及び代行
- 産業用機械及び車両部品の製造並びに金属製品加工業
- 建設事業・宅地建物取引業・土木建築設計管理業務
- マンションの経営・一般労働派遣事業上記に付帯する

グループ会社

小松チューブエンジニアリング株式会社
 枚方梱包株式会社
 極東油業株式会社
 栄トランスポート有限公司
 協栄株式会社
 栄エンジニアリング株式会社
 小松興産株式会社

インタビュー

INTERVIEW

沿革

- 昭和20年10月 栄組 創業
昭和23年 大阪財務局より旧大阪陸軍造兵廠構内の敷地と建物を借り受け
昭和25年12月 株式会社栄組 設立
昭和28年1月 一般区域特定貨物自動車運送業取得
昭和33年1月 宅地建物取引業登録
昭和43年9月 自動車運送取扱事業登録
昭和45年12月 社名を栄運輸工業株式会社に変更
昭和52年6月 特定旅客自動車運送事業許可取得
10月 近畿海運局より倉庫業の許可を受ける
平成12年4月 堺臨海支店（現：堺臨海営業所）を開設
7月 新規産業廃棄物処分業許可（中間処理業）を取得し、産業廃棄物の受け入れを開始。
RC-40（再生砕石）生産
平成16年9月 RC-40が大阪府認定リサイクル製品として認定を受ける
平成21年9月 RC-30の生産開始
11月 RC-30が大阪府認定リサイクル製品として認定を受ける

物流や循環など多方面で活躍する老舗

——御社の概要を教えてください。

秋山：当社は栄グループの中核企業として、貨物運送などの物流事業を中心に、構内作業請負、倉庫業、産業廃棄物処理業、人材派遣、不動産事業など幅広く手掛けています。グループ創業は戦後間もない1945年で、その5年後の1950年に当社の前身となる「(株)栄組」を設立しました。当時、旧陸軍造兵廠枚方製造所（大阪府枚方市）を(株)小松製作所へ払い下げ、同社の大阪工場を整備する計画が持ち上がっていたのですが、当社はこの工場立ち上げに参画・協力したのが出発点でした。そこから大手メーカーの工場内で請負作業、そして製品輸送をメイン事業として成長・拡大してきた次第です。昨年には設立から75年を迎え、その意味では老舗と言えるかもしれません。

グループ会社は、当社が担う運輸部門・再生部門に加えて、大きく三つの部門に分かれています。小松チューブエンジニアリング(株)で担う部品製造部門では、建機メーカー向けに油圧配管を製造。また、枚方梱包(株)では建機部品等の工業梱包全般、いわゆる荷造りの作業を実施しています。最後に、極東油業(株)が担う燃料販売で、産業燃料供給の他、複数のサービスステーションを運営しています。

——物流を中心にビジネス展開してきた中で、資源循環業に参入したきっかけは？

秋山：当社が再生事業を開始したのは2000年のことです。現在の小松範行社長が経営に参画した際に、何か新しい事業を立ち上げたい、これからは環境分野が重要になるのではないかとの思いから、解体工事や産業廃棄物の中間処理を運営していた前身の会社M&Aで買収しました。その際、敷地や従業員の皆さんも含めてそのまま受け入れ、当社・堺臨海営業所として再編した上で、再生事業がスタートしました。

INTERVIEW

グループとしては異分野のビジネスでしたが、もともと大阪府下でも有数の事業者を買収し、そのノウハウを継承できたことは、その後の財産となりました。私自身は再生事業に移ってから6年ほどになりますが、以前は枚方営業所で物流の配車管理を担当しており、運送会社の働き方をしてきました。それが堺臨海営業所では全く畑違いのリサイクル業務をするわけですから、最初はカルチャーショックがありましたね(笑)。当然、慣れるのに時間が掛かりましたが、従業員のみんなには本当に助けられました。



お話を伺った同社の秋山勇貴所長(左)と川崎秀人課長代理(右)

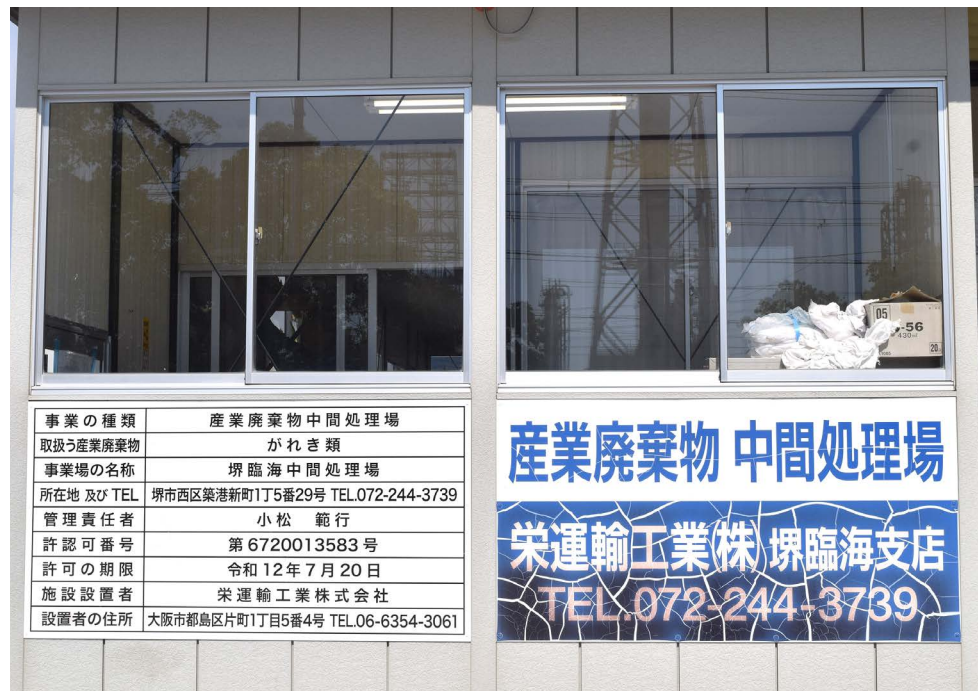
広大な敷地でがれき類の中間処理を実施し、高品質な再生碎石を製造

—では、再生事業の概要を教えてください。

秋山：当社の再生事業は、ここ堺臨海営業所のみで展開しています。解体工事等から発生するコンクリート殻や石等のがれき類を受け入れ、破碎のうえ粒度調整をして、再生碎石として販売しています。許可としては「破碎及び粒度調整（資源化）」で、処理能力は日量1,125tとなっています。顧客に関しては、ほとんどが大手ゼネコンを含めた解体業者ですね。

処理フローとしては、まずがれき類を受け入れた上で、重機にて破碎選別プラントに投入し、一次破碎、磁選、二次破碎、手選別を経て、ふるい機で粒度調整して製品する流れです。再生製品として、RC-30とRC-40、さらに粒度を揃えたRM-25、RM-30、RM-40を販売しており、大阪府リサイクル製品認定も受けていますよ。

INTERVIEW



——御社の再生事業の強みは？

秋山：やはり、堺臨海営業所の大阪府下でも最大級の広さを持つ敷地でしょうね。再生砕石事業は出口問題が常に付きまといますから、敷地面積の広さはひとつの強みとなります。当社では、面積2万㎡の敷地を有効活用して、受け入れ量や製品在庫量をコントロールするとともに、保管場所に余裕を持つことで製品の品質を維持しています。

その意味では、受け入れ基準もかなり厳格に運用しており、がれき以外の混合物が多い品物に関してはそもそも受け入れない方針を、事業の立ち上げ当時から貫いています。解体業者との事前打ち合わせでも、異物を少なく、綺麗な殻しか受け入れできないことをお話しし、都度現場に訪問してこちらの要望をお伝えしています。それでも質の悪いものが持ち込まれた場合には妥協せず、申し訳ありませんが持ち帰っていただいています。加えて、手選別による異物除去は徹底しており、品質維持の努力は欠かさず行っています。

もちろん、もう少し受入れ量がほしいタイミングもあるのですが、そういう状況と関わりなく割り切って運用していますね。入口から品質を高めることが製品の品質に直結しますし、品質が高ければ販売先の候補も自ずと増えます。実際、ユーザーの皆さんには当社の砕石はキレイだと評価をいただいていますし、私たちも自信を持って販売できることが大切です。



——高い品質を維持するため、さまざまな努力があるのですね。

秋山：とはいえ、再生碎石のニーズはなかなか増えていかないのが実状です。ESG投資など企業の環境活動を評価する動きもありますが、公共工事や大手ハウスメーカーの工事などでは、ほぼ使われていない状況です。特に民間では設計部門の意向が強いとのことですから、性能的に問題ないことや環境に対する影響などをご説明し、使用する材料を再生碎石へ切り替えることができないか、ご迷惑が掛からない範囲で交渉しています。

働きやすい環境づくりで地域貢献

——労働安全衛生の取り組みについて教えてください。

秋山：普遍的な取り組みではありますが、毎日の朝礼や、月に一度ランチミーティング形式での現場会議で、意識共有や注意喚起を行っています。また、全社的に安全協議会や安全パトロール隊を組織しており、各営業所を巡回して危険箇所の共有・改善を進めています。

それから、今のような夏季に欠かせないのが熱中症対策ですね。年々気温が上がっていますから、重機オペレーターやプラントの作業スタッフには、熱中症対策ドリンクを無制限に配っています。また、手選別ラインの近くに空調の効いた休憩室も設けました。現場にスポットクーラーやミストファンを配置しましたが、対策にも限界がありますからね。現在、手選別ラインは3人運用のところ、4人を配属しており、ローテーションで休憩を取れる体制としています。

——人材確保については？

秋山：運送部門はなかなか難しい状態にありますが、幸いなことに再生部門の定着率が高いんです。勤務時間は8時～17時に固定しており、残業も少なく、現状土曜日は製品出荷のみの稼働で、日祝は休みという勤務体系ですから、スケジュールが立てやすいというのもプラスに働いていると感じています。

堺臨海営業所の従業員12人のうち、数人は前身の会社から移っていただいたスタッフで、勤続20年以上の方も在籍しています。中には、前身から数えて30年以上のベテランもいますよ。皆さん長い付き合いですから、職場の雰囲気がアットホームで働きやすい面はあるかもしれません。ただ、ベテランの皆さんが退職するタイミングは、いずれやってきます。今のうちから技術や知見の継承について考え、うまく引き継いでいけるよう備えるのが、今後の課題です。

業務の合理化という意味では、1年ほど前に自動釣銭機も導入しています。業務的に現金を取り扱うことが多いのでどうしてもお金の受け渡しミスや計算違いなどが発生しやすい状況がありました。そこをDX化することで、ミスの解消と時間短縮につながりました。今後もDX化については積極的に推進していきたいです。



自動釣銭機導入で事務作業の効率をアップ！

——今後の抱負をお願いします。

秋山：地元・堺の解体現場から発生するがれき類の受け入れ、そしてリサイクル製品の製造を通して、地域貢献を深めて参ります。まだまだ資源循環が十分に浸透していない部分もありますが、営業一人ひとりが丁寧に説明をして、利用を拡大していければ幸いです。

——本日はありがとうございました。



事務局からのお知らせ




さんぱい フォーラム

SANPAI FORUM 2026

1年に1度、環境についてみんなで考える日

— 適正処理困難物対策と資源循環の推進に向けた新たな施策 —

2026年12月4日(金) 13:30 ● 受付開始 13:00 ● 終了予定 15:50

エル・おおさか
大阪府立労働センター 大ホール(エル・シアター)

「循環経済」への移行が国家戦略として進められる中、廃棄物処理法・PCB特別措置法の改正や太陽光パネルリサイクル法の公布など、資源循環をめぐる法制度は大きな転換期を迎えています。今回の「さんぱいフォーラム2026」では、適正処理が困難な廃棄物への対策と、昨年11月に全面施行された再資源化事業等高度化法をはじめとする新たな施策を取り上げ、これからの資源循環の推進と、業界が果たすべき役割について考えてまいります。

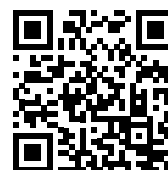
詳細・参加申込方法は決まり次第、本会HPに掲載いたします。

なにわサンパイ塾

与信管理と債権回収～貸倒れが「営業の責任」になる前に～

「この取引先、大丈夫？」——取引先の経営悪化や廃業による貸倒れを防ぐために、営業担当者が身につけたい与信管理の基本、決算書の見方、債権回収の実務対応を公認会計士と弁護士が分かりやすく解説。

- 日 時：令和8年10月13日(火曜日) 15時00分～16時45分
- 場 所：大阪市中央区農人橋1-1-22 大江ビル13階 第6会議室
- 内 容：第1部 営業担当者が知っておきたい与信管理の基本
第2部 未回収の実務対応と法的対策
- 参加費：無料
- 定 員：30名(先着順、定員になり次第締切)



申込先

会員向けご案内

経営事項審査のための会員証明書発行について

本会会員は公共工事を発注者から直接請け負おうとする建設業者に必要な経営事項審査の加点(20点)対象です。審査に必要な会員の証明書の発行(無料)を希望される方は本会までお問合せください。

建設廃棄物処理委託契約書の販売終了について

建設廃棄物処理委託契約書の販売元である建設資料普及センターの業務終了に伴い、本会でも令和8年7月で販売を終了いたしました。

※現在、(一社)東京建設業協会のHPからPDF版をダウンロードできます。

※処理委託契約書に関する質問は現場管轄の行政機関(府や市町村)へ、印紙税額に関しては、管轄の税務署へ直接お尋ねください。

OSK-sign (電子契約エントランスシステム) に加入しませんか？

OSK-signは、産業廃棄物処理委託契約を紙ではなく電子データで締結・保管することができるサービスです。

〈OSK-signご利用のメリット〉

- ・紙契約書のように契約書の往來の時間がかからない
(メールで送信、ネットワーク上で承認)
- ・ネットワーク上で行うため、ソフトウェアのインストールや保守が不要
- ・収入印紙が不要でコストカット
- ・契約相手先の加入の必要がない
- ・産業廃棄物処理委託契約以外の契約にも対応

特典として、研修などにお使いいただける「教育動画コンテンツ」もご用意

※今後も不定期で追加配信予定

お試しで下記URLよりご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=mbAsip-JTHU>

協会ではオンライン説明会を実施しておりますので、お気軽に下記までお問合せください。

【OSK-signに関するお問い合わせ】

e-mail : e-contract@o-sanpai.or.jp

BACK

バックナンバーのご案内

NUMBER

弊会HPで全号公開中

クリーンライフ

第93号（令和6年7月25日発行）

- ①中長期における持続可能な適正処理の確保に向けたごみ処理の広域化及びごみ処理施設の集約化について
- ②デジタル原則を踏まえた廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の適用に係る解釈の明確化等について
- ③特定家庭用機器再商品化法施行令の一部改正について

第94号（令和6年11月25日発行）

- ①デジタル原則を踏まえた廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の適用に係る解釈の明確化等について
- ②「太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン（第三版）」について
- ③低濃度PCB廃棄物の処理に関するガイドラインー焼却処理編ーの改訂について

第95号（令和7年3月25日発行）

- 特集 さんばいフォーラム2024 終了報告
ー循環経済を目指す脱炭素型資源循環と新たな法制ー

第96号（令和7年8月25日発行）

- 特集 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部を改正する省令による
電子マニフェストシステムの改修及び公開について

第97号（令和8年3月30日発行）

- 特集 資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律の全面施行について
廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について

普及促進シリーズ
廃棄物法制等

廃棄物法制等普及促進シリーズVol.4 第2版 2014年12月1日発行
●産業廃棄物処理業におけるヒヤリ・ハットの事例分析

廃棄物法制等普及促進シリーズVol.5 第3版 2019年3月1日発行
●廃棄物収集作業

廃棄物法制等普及促進シリーズVol.10 第2版 2019年11月1日発行
●産業廃棄物処理業に関するBCP策定ガイドライン

廃棄物法制等普及促進シリーズVol.12 初版 2017年12月1日発行
●廃棄物処理先進事例調査報告書

廃棄物法制等普及促進シリーズVol.14 初版 2023年11月1日発行
●資源循環の推進を目指しSDGsの視点で考える（さんばいフォーラム2019～2022実施報告書）

廃棄物法制等普及促進シリーズVol.15 初版 2024年11月1日発行
●廃棄物処理先進事例調査報告書Ⅱ

公益社団法人
大阪府産業資源循環協会の

分かりやすく
コンパクト

必携の
一冊

よくわかるシリーズ1

産業廃棄物の処理の委託をするときに不可欠なマニフェストのしくみを分かりやすく解説！本冊子ではマニフェストの書き方や各伝票の運用方法を記載例、フロー図などを駆使しながら説明しています。巻末にはマニフェストについてよく質問される事柄をQ&A方式で掲載！産業廃棄物の処理を委託する方、される方には必携の一冊です。



よくわかるシリーズ2

産業廃棄物を運搬するときに、守らなければならない処理基準を中心に解説！収集運搬車両の表示板、積替保管する場合の基準、施設（車両）の使用権限から大阪府流入車規制など、収集運搬において必要となる事柄をコンパクトに説明しています。巻末には収集運搬についてよく質問される事柄をQ & A方式で掲載！産業廃棄物の収集運搬をされている方には必携の一冊です。



よくわかるシリーズ3

許可の有効期限の延長など、産廃処理業者にとって数々のメリットがある優良産廃処理業者認定制度を分かりやすく解説！優良認定を受けるための5つの基準を説明するだけでなく、過不足なく申請事務を行えるよう、チェックリストも収録しています。巻末には優良産廃処理業者認定制度についてよく質問される事項をQ&A方式で掲載！優良産廃処理業者の認定を目指されている方には必携の一冊です。



よくわかるシリーズ4

これは産業廃棄物か一般廃棄物か？産業廃棄物の中のどの種類になるのか？など、廃棄物の適正処理の基本となる考え方や判断基準を中心に解説！廃棄物の取扱説明書として必携の一冊です。ふだんゴミ出しでお困りの一般の方々も、ぜひお読みください。



よくわかるシリーズ5

他業種にくらべ圧倒的に労働災害が多い廃棄物処理業では、廃棄物の適正な処理だけでなく、安全な処理も求められます。本書は産業廃棄物の処理における労働災害の未然防止徹底を目的に作成した一冊です。「労災ゼロ」を目指して、ぜひご活用ください。



PR

いつの間にか 回収量が減っている！



担当営業は
何をしてるんだ！？ 他社に取られて
いるんじゃないか？

顧客の困り込みに課題はありませんか？

- ✓ いつの間にか回収量が減り、解約になっている！
- ✓ 年に数回、大口の回収依頼があったが、いつの間にか来なくなった
- ✓ 毎月回収はあるけど、契約当初と比べると徐々に減少している…
- ✓ いつ他社に取られるかヒヤヒヤしている
- ✓ 担当営業がちゃんとフォローできているのか怪しい！

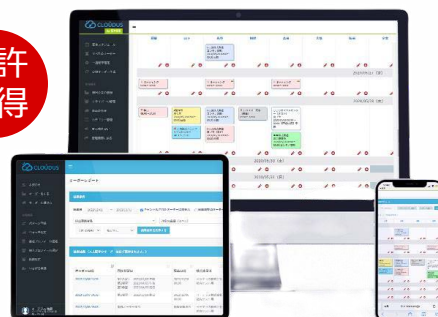
クラウドス

産廃業者専用クラウドシステム『**CLOUDUS®**』が解決！

＼ 特許取得・業界初の機能を搭載 ＼

排出事業者からの
回収量・頻度の減少を
自動でお知らせ！

特許
取得



顧客の状況変化を
早急にキャッチ



解約を未然防止



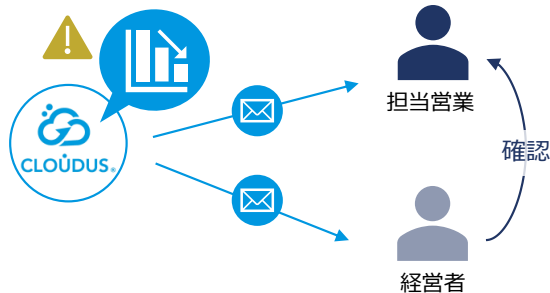
顧客フォローを
サポート

POINT



排出事業者からの回収量・頻度の減少を自動でお知らせ！

過去の受注履歴から回収量の低下をクラウドスが察知。
アラートメールを自動で送信し、担当営業がすぐに対応できます。



🔥 アラート設定パターン

① 指定した回収量を下回った場合に通知

例：A社の廃プラの回収量が、1カ月で30t以下になってます！

② 指定した日数を過ぎても回収がなかった場合

例：A社の廃プラを最後に回収した日から、30日経過しています！

会員様 限定特典！/
導入サポート

“導入したのに
使えない！”
を防ぎます！



- ・ 初期設定（利用機能に必要な情報全て）
- ・ データ移行（既存データがある場合）
- ・ 関係者への説明会

- ・ 利用率向上のサポート
- ・ 専用マニュアル
- ・ 困ったときの電話サポート

無料で
充実・安心
サポート

大阪府産業資源循環協会とイーテラスは、パートナーシップ契約を締結しました

社会や産業の構造が大きく変わろうとしている中、公益社団法人大阪府産業資源循環協会では、これまで以上に廃棄物の適正処理と資源循環の安定確保を図るため、デジタル技術等の活用を推進しています。

その一環として、当協会はイーテラス株式会社とパートナーシップ契約を締結し、同社が運営する「クラウドス」の普及に協力しています。



▼クラウドスに関する資料請求などのお申し込みは、下記の項目をご記入のうえ、FAXにてご返信下さい。

貴社名			
お名前		TEL	
アドレス			
ご希望の項目にチェックをお入れ下さい。			
☐ 資料請求 ☐ 電話で詳しく聞きたい ☐ その他（ ）			
特約店	公益社団法人 大阪府産業資源循環協会		



FAX返信

06-6942-5314

（公社）大阪府産業資源循環協会 DX推進共同事業者



イーテラス株式会社 | 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-26 有明フロンティアビルB棟9階
【TEL】 0120-506-381 【メール】 ariake@e-teras.co.jp

編集後記

増える空き家と残置物の取り扱い

全国の課題だと思うが、奈良や大阪など近畿地方でも空き家・空き建物が増えている。微力ながら建設業の仕事に携わっていると、このことが日々気がかりになる。

人口も世帯も減っていく中で、世の中で働き方改革やデジタル化が進んでいるので、今後はもっと建物の需要が減って、空き家等が増えていくだろう。使われなくなった建物を再利用するのは限界もあるだろう。建て替えや更地などにしないと、周辺の街や集落までさびれてくる。

撤去を進めるとなると、解体工事や解体廃材を扱う仕事もそれなりに増えるかもしれないが、取り扱いでやっかいなのが、屋内外に放置された残置物だ。これまで通り、事業所から排出されたものは産廃で、個人宅から排出されたものは一廃と言われてしまうのか。

残置物の取り扱いは解体前のお片付けの業務になる。一廃とか産廃とか関係なく、残置物として、ひとくくりでの取り扱いを認めてほしいと思うことがある。また、片付けの業務も解体工事の一環に位置付けてくれると、仕事が一層はかどると思う。規制は厳しくてもいいから、業務が円滑に進む制度作りを望んでいる・・・

組織広報委員会 オブザーバー 筒井 智美

新「メール会員サービス」のご案内

本会のイベントやセミナーを中心に厳選した情報を随時お伝えするメルマガを新たに発行いたします。会員・非会員問わず無料でご利用いただけますので、配信ご希望の方は以下の要領でお申込みください。

なお、正会員・賛助会員限定メルマガ「**れん楽網 Clean Life オンライン**」はこの新サービスとは別で引き続きご利用いただけます。

申込先アドレス **news@o-sanpai.or.jp**

件名 メール会員サービスの申し込み

本文 ① 氏名 ② 所属企業・団体名 ③ メールアドレス ④ 電話番号

Clean Life vol.98

編集 公益社団法人 大阪府産業資源循環協会
組織広報委員会

委員長	高 好 健 二	委員	高 田 実佐大
副委員長	田 中 公 治	委員	原 田 幹 之
副委員長	片 渕 則 人	委員	平 尾 道 哉
委員	伊地知 宏 徳	委員	福 田 英 克
委員	伊 山 雄 太	委員	福 田 勝
委員	大 津 佳 之	委員	山 口 玉 緒
委員	尾 崎 正 孝	事務局	福 原 睦 美
委員	北 本 かおり		

産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の許可申請に関する講習会（新規・更新） 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会

2026年度 オンライン講習会試験日・対面講習会開催日 近畿地区日程表

受講料	オンライン 対面	新規				更新		特別管理産業廃棄物 管理責任者
		産業廃棄物 収集運搬課程	産業廃棄物 処分課程（※1）	特別管理産業廃棄物 収集運搬課程	特別管理産業廃棄物 処分課程（※2）	収集運搬課程	処分課程（※3）	
		¥27,500	¥42,900	¥40,700	¥61,600	¥17,600	¥22,000	¥14,300
		¥33,000	¥53,900	¥51,700	¥75,900	¥22,000	¥27,500	¥15,400
2026年 4月						兵庫会場： 22日(1)(3) 23日(1)		兵庫会場： 22日(2) 23日(2)
5月		兵庫会場： 19日(1) 20日(2) 21日(1)				大阪会場： 12日(2) 13日(1) 兵庫会場： 19日(2) 20日(1) 21日(2)		大阪会場： 12日(1)(3) 13日(2) 兵庫会場： 19日(3) 20日(3)
6月		大阪会場： 23日(2) 24日(2)				大阪会場： 23日(1) 24日(3) 25日(1)		大阪会場： 23日(3) 24日(1)
7月		京都会場： 7日～8日(対面) 滋賀会場： 2日(1) 和歌山会場： 30日(1)	京都会場： 9日(1) 和歌山会場： 29日(1) 兵庫会場： 28日～31日(対面)			京都会場： 9日(2) 滋賀会場： 2日(2) 和歌山会場： 29日(2)	京都会場： 9日(1) 和歌山会場： 29日(1)	滋賀会場： 1日(対面) 和歌山会場： 29日(3)
8月		大阪会場： 19日(2)				大阪会場： 18日(対面) 19日(1)(3) 20日(1)	兵庫会場： 25日～26日(対面)	
9月		兵庫会場： 16日(1) 17日(1) 奈良会場： 9日(2) 滋賀会場： 29日(1)	奈良会場： 9日(1) 滋賀会場： 30日(1)	兵庫会場： 17日(2)	兵庫会場： 17日(2)	兵庫会場： 15日(対面) 16日(2) 奈良会場： 9日(3) 10日(1) 滋賀会場： 29日(2) 30日(2)	奈良会場： 9日(1) 滋賀会場： 30日(1)	兵庫会場： 16日(3) 滋賀会場： 29日(3)
10月		大阪会場： 7日(2) 8日(1)				大阪会場： 7日(1)(3)		大阪会場： 6日(対面)
11月		京都会場： 12日(2) 大阪会場： 17日～18日(対面)		京都会場： 11日(1)	京都会場： 11日(1)	京都会場： 10日(対面) 11日(2) 12日(1)		京都会場： 11日(3)
12月		大阪会場： 8日(2) 9日(1)				兵庫会場： 2日(1)(2) 大阪会場： 8日(1) 9日(2) 10日(1)		兵庫会場： 1日(対面) 大阪会場： 8日(3) 9日(3)
2027年 1月		兵庫会場： 14日～15日(対面) 和歌山会場： 28日(1)		大阪会場： 21日(1)	大阪会場： 20日(1)	大阪会場： 19日(対面) 和歌山会場： 27日(対面) 28日(2)		大阪会場： 20日(2)(3)
2月		大阪会場： 9日～10日(対面) 京都会場： 17日(2) 奈良会場： 26日(1)				京都会場： 17日(1) 17日(3) 18日(1) 奈良会場： 26日(2)		京都会場： 16日(対面) 18日(2) 奈良会場： 26日(3)
3月		兵庫会場： 3日(3) 大阪会場： 3日(1)	大阪会場： 3日(2)			兵庫会場： 2日(対面) 3日(1) 4日(1) 大阪会場： 3日(3)	大阪会場： 5日(1)	兵庫会場： 3日(2) 4日(2) 大阪会場： 4日(対面)

(※1) 新規産業廃棄物処分に追加して、新規収集運搬を受講することができます。

(※2) 新規特別管理産業廃棄物処分に追加して、新規特別管理産業廃棄物収集運搬を受講することができます。

(※3) 更新処分に追加して、更新収集運搬を受講することができます。

(1)・(2)・(3)：会社やご自宅から、事前にオンラインで「講義」の動画を視聴し、「修了試験」は上記日程表に記載した試験会場に来場して受験する2段階形式の講習会です。

(1)：午前 (2)：午後1回目 (3)：午後2回目

(対面)：上記日程表に記載した会場で、「講義」と「修了試験」を受ける対面形式の講習会です。

講習会の申込はインターネット申込みのみです。

詳細は講習会主催者のJWセンターのサイト <https://www.jwnet.or.jp> をご覧ください。

Clean Life vol.98

クリーンライフ

第98号

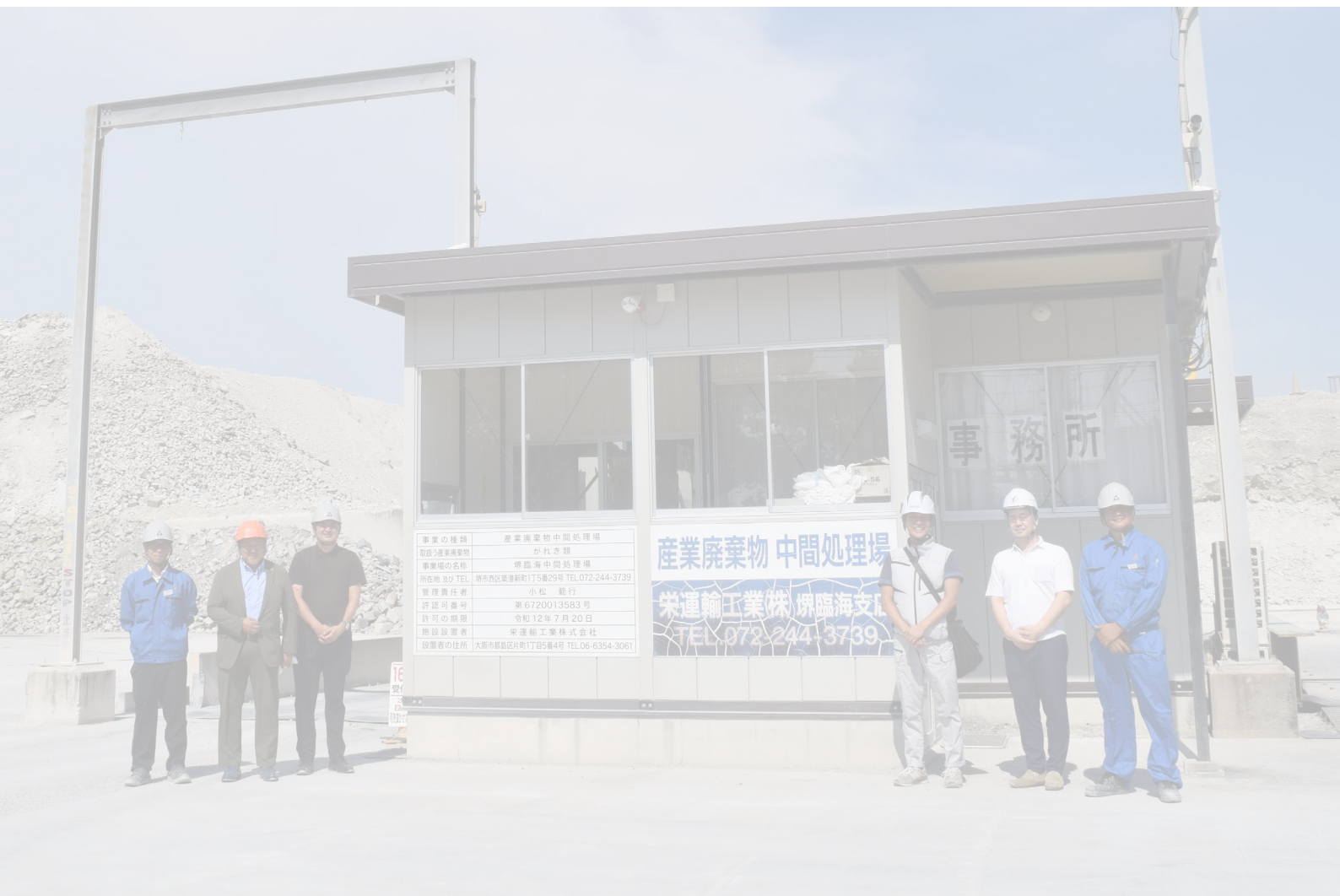
令和8年9月30日発行

発行責任者 公益社団法人

大阪府産業資源循環協会

会長 濱田 篤介

組織広報委員長 高好 健二



産業廃棄物の適正処理に関するご質問・ご相談は

公益社団法人 大阪府産業資源循環協会

〒540-0011 大阪市中央区農人橋1丁目1番22号 TEL:06-6943-4016 FAX:06-6942-5314

<http://www.o-sanpai.or.jp/>

職場のみなさまで
回覧してください